

子育てしやすい姫路市を、次の世代に残しましょう

日本共産党は安心して子育てできる社会をめざします

- すべての幼稚園で2年保育の実施実現を
- 希望する3～5歳児の入園受け入れを
- 地域、保護者、現場の声を尊重し、幼稚園の存続で地域コミュニティを守ること



子育てや教育にお金を使うことは、未来の安心に投資することよね

議員は多数の住民の声は無視しないそうよ。署名たくさん集めましょう

幼稚園が無くなったら若い人が住みにくくなり、小学校も子どもが減ってきます。放っておいたら次は小学校が廃校になるんじゃない?

少子化は政治の責任……

少子化が日本社会の深刻な問題となっています。その原因の1つに貧困と格差の拡大があります。とりわけ若い世代は非正規の仕事についている人が約半数、年間所得が200万円以下…、働いても暮らしが成り立たないワーキングプアやネットカフェ難民の増加…、これでは結婚し、子供を育てることは困難です。

少子化は政治の責任です。人間らしく働ける職場と賃金、男女平等、保育所・幼稚園・学童保育所の充

実、子育ての経済的負担の軽減、ふれあいと連帯感のある地域社会は、安心して子育てができる土台です。

子育てや教育にお金を使うことへの政治的責任

施策名	共産	民進	公明	民主	社会
女子奨励規定を撤廃して、女性にも奨励規定の適用や連帯費をふりこける自治体(姫路市議案197号)	○	●	●	●	●
昇進制度を早くして、昇進可入枠に達する平均年齢の差を縮減を推進する(北條市長決意100号)	○	●	●	●	●
派遣労働者待遇改善(姫路市議案100号)	○	●	●	●	●
母子家庭の経済的負担軽減(姫路市議案100号)	○	●	●	●	●

公約実現めざしてがんばります

市議員
入江次郎



市議員
森ゆき子



市議員
谷川まゆみ



市議員
大脇和代



市立幼稚園、23園もの

廃園計画は見直しを

69ある幼稚園のうち23園も廃止は子育て支援に逆行します

廃止される予定の幼稚園

	2008年4月	2009年4月	2010年4月
旧姫路市	城野 野里 峰相 広畑 南谷	増位 船場 高岡西	城北 安室 白島 東本 八木 大津茂 余部 伊勢
合併町			古山 助野 登良南

市立幼稚園の統廃合計画、23園もの廃園は子育て支援に逆行しています。

姫路市は故石見元秀市長時代に幼児教育を推進し「1小学校1幼稚園」を実現しました。一方、戦後働く女性は保育所を求めてきました。特に子どもが友達を求める3歳児以上では、少子化で近所に友達がいないため、専業主婦も幼稚園や保育所を求める状況が下記の表からも明らかです。

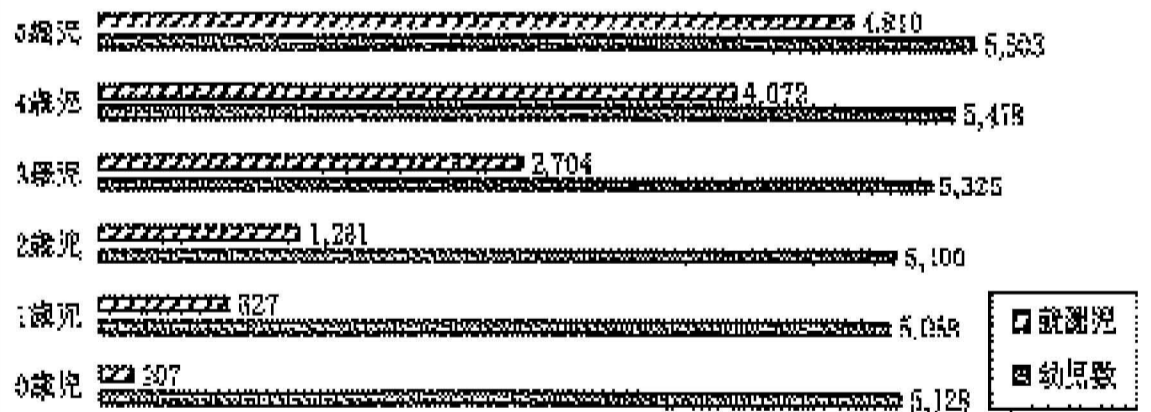
政府は子育て支援策として平成3年、「第3次幼稚園教育振興計画」で「希望する全ての3歳～5歳児を就園させること」と提言しました。しかし市は「安心の子育て・子育て支援」を表明しながら2007年9月には、3年間で23園もの幼稚園の廃止計画を発表し、幼稚園PTA協議会の「全園2年保育実施希望」の要望に応えませんでした。

幼稚園統廃合計画見直しの新署名に、ご協力を！

昨年の12月議会に「幼稚園統廃合やめ全園2年保育実施を」の請願が、短期間で集められた2880筆の署名を添えて提出されました。賛同し紹介議員になったのは日本共産党姫路市議団だけでしたが、若いお母さん方の思いを受け止め本会議、文教委員会で奮闘しました。子ども連れで傍聴される姿、FAXでの訴え等に励まされ、請願は継続審議となり2月議会に持ち越されることになりました。

各種民主団体が市立幼稚園統廃合計画見直しの新署名を行っています。2月議会には「幼稚園統廃合計画に関する条例案」が提出されますが、署名運動が大きく盛り上がり、議会が否決すれば計画は見直しできます。

〔年齢別〕 幼児数と幼稚園・保育所就園児数



2月議会に向け、議員に市民の声を届けましょう！

12月議会を傍聴したお母さんたちから、「私たちの幼稚園はまだ新しいのに何で廃園なんですか？」「4歳児・5歳児を、いっしょに保育してくれたらもっと人数は集まります」「地域で、みんなから大事にされてるのにつぶすなんて納

得できません」等々の思いが次々と、あふれ出ました。「地元の議員さんにこの思いを届けよう」「もっとたくさん署名を集めよう」と市民の声が届くまで頑張りましょう！